令和６年度版

環　境　白　書

沖　縄　県

環境白書の発行に当たって

私たちの暮らす沖縄は、豊かな生態系を育むサンゴ礁が広がる海域に散在する大小160 の島々からなり、大陸が分岐した地史の中で生き物が独自の進化を遂げ、イリオモテヤマネコやヤンバルクイナ等多くの固有種を含む希少な動植物が生息・生育する生物多様性に富んだ地域です。令和３年７月には、その顕著な普遍的価値が認められ「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」が世界自然遺産に登録されました。

一方で、島嶼性に起因する特有の地理的条件から環境負荷に脆弱であることや、広大な米軍基地の存在が環境に様々な影響を与えているという特徴があり、各種開発や経済活動等の進展による自然環境の破壊や航空機騒音等の基地から派生する問題等多くの環境問題が依然として存在しています。また、気候変動対策や、プラスチックごみ問題等、地球規模の課題にも対応が求められています。

これらの現状を踏まえつつ良好な生活環境を保全し、世界に誇る豊かな自然環境を次世代へ引き継ぐことは、私たちの責務であるとともに、本県の有するこれらの環境は有限であることを再認識した上で、負荷の少ない持続的発展が可能な循環型社会を創りあげていかなければなりません。

このため、沖縄県では、「第3次沖縄県環境基本計画」に基づき、脱炭素社会の推進、生物多様性の保全、資源循環の促進等、多岐にわたる環境施策を展開し、当計画で掲げた本県が目指す新たな環境像である「沖縄の豊かな自然の恵みを継承する、持続可能な循環共生社会」の実現を目指し取り組んでまいります。

このほか、本県では令和６年 12 月に「沖縄県気候変動適応センター」を設置し、気候変動影響及び気候変動適応に関する情報の収集、整理、分析を行い、効果的・効率的な適応策を検討し、事業者や住民等への情報提供を通して県内における気候変動適応策の取組を推進することとしています。

本書は、主に令和 5 年度の本県における環境の現状と実施した施策についてまとめたものです。皆様の環境への関心と理解をより深め、環境保全活動の一助となれば幸いです。

令和７年３月

沖縄県知事　玉　城　デ　ニ　ー